

奥口内科クリニック便い

“怪しい”がん情報

信頼できる情報はわずか“1割程度”

インターネット上には信頼できない情報があふれています。科学的根拠に基づいた信頼できる情報は、10%しかありません。それ以外は間違った情報・有害なものです。よく勘違いされるのががん治療に関する、標準治療と自由診療の違いです。

標準治療とは、安全性と有効性が科学的手法で確認された結果、公的医療保険が適用されている治療法です。一方、自由診療では科学的手法で有効性や安全性を確立されてません。そのため全額自己負担となります。治療費は自由に設定できるので高額な場合があります。自由診療は高度な治療であると勘違いしている方もいますが、そうではないのです。また、保険診療は自由診療の併用は原則禁止です。



AIの回答をそのまま信じないで！

AIはインターネット上のあらゆる情報から回答を作るので、間違った情報や根拠のない情報が混じることがあります。AIの回答の方が人間よりも信頼できると感じて意思決定をしてしまう心理的傾向があります。利用するときは十分に検証することが大切です。



要注意な表現

☐ 標準治療の先の自由診療	☐ ステージ4でも完治を目指す	☐ 健康サプリメント
☐ 新しい可能性	☐ 副作用はほとんどない	☐ ○○成分配合
☐ 標準治療と併用できる	☐ ぜひ無料セミナーへ	☐ がんにやさしく効く

誰もがすがりたくなる、患者さんに寄り添う言葉のように感じられます。しかしこのような表現がある場合は、科学的根拠のない治療を進められることが多いので注意が必要です。

信頼できる情報はどこ？

がんやがん治療について正確な情報を得たいときは国立がん研究センターが運用している「がん情報サービス」のホームページで確認できます。

また、がん診療を行う病院には誰でも無料で利用できる「がん相談支援センター」の窓口があり、さまざまな悩みを相談できます。

国立がん研究センター
がん情報サービスサポートセンター

電話相談窓口

電話番号 03-6706-7797

受付時間 平日10時～15時